



# 葵タイムス



命名: 山本 一郎

令和元年 11月1日発行

ボーイスカウト和歌山連盟

発行責任者 仙石 康盛

編集: B S 和歌山連盟編集委員会

E-mail: bs-wakayama@leto.eonet.ne.jp

今年も「全国防災キャラバン」イオンモールで

## 楽しみながら「命を助ける大切な知識」を伝えたい!!



▲写真上: ロープワークに挑戦! カブスカウト達

◀写真左: 受付・入団案内と3つのブース(会場全景)

▼写真下: テントの中には色んなものが、非常時持ち出しは?

### そなえよつねに

ボーイスカウトでは、イオンさんとコラボし、全国のイオンモールにおいて「全国防災キャラバン」という一般の方を対象(子どもを含め)にした防災についての啓発イベントを展開しています。

ボーイスカウト和歌山連盟もイオンモール和歌山において、7月7日の七夕の日に、災害時に役立つ「防災」に関する知識やスキルをゲーム感覚で体験しながら身につけていただくよう開催しました。

「身近にあるものが命を助けることに活用できること」を知ってほしい。「こういった備えを日頃からしてほしい」。何故なら、参加された方々に災害時の被害を小さくするのは、日頃からの「備え」だということを伝えたいからです。まさに、私たちのモットー「そなえよつねに」です。

### 3つのブースを用意しました

#### ① 防災用品持ち出しゲーム

制限時間内にテントの中に置いて



あるものから非常時に持ち出すものを5つ覚えてもらいました。

とっさの時に持ち出すものは、常日頃から頭に留めておくことが大切です。非常時持ち出し袋を必ず用意しておいてください。

#### ② 災害時に役立つロープ結び

このブースではロープを使つてのゲームもあり、楽しみながらロープ結びを学びます。ボーイスカウトではロープ結びは必修科目です。野外活動に於いては必ず必要とされ、修得せねばなりません。このロープワークは災害時にも必ず役立ち、命を守る大切な知識(技能)です。だから、教えるスカウト達も真剣そのものでした。

#### ③ ポリ袋を利用した防災グッズ

家庭用のゴミ袋を切り取って防寒

着やエプロンを。それに絵を描いてオリジナルなものに挑戦してもらいました。子ども達は夢中に・・・。

その他、ポリ袋を利用した炊飯、レジ袋で作る三角巾、懐中電灯にポリ袋を巻いて柔らかな灯りづくり、ポリ袋と段ボールでバケツの代用となること等を伝えました。

身近なもので命を守ることが出来ることを知ってほしく、スタッフ全員頑張りました・・・。

今回は、和歌山气象台からもブース展示がありました。震度計や雨量計、竜巻の起こる原理《様子》が分るミニチュア模型等、子ども達も興味津々でした。

(記・県連総務委員長 平井 孝朗)



▲私は可愛いエプロンをつくりたい・・・



## 「24WSJ」参加者 8人の忘れられない 思い出を紹介します。 参加スカウトから投稿いただきました

※誌面の都合上、頂いた原稿の一部省略や変更しております



### 夢の中に入ろうでした 和歌山 21 団・V S 寺岡 篤志

普段の活動では経験出来ない事ばかりで、夢の中に入ろうでした。

特にアーチェリーでは、本物の弓を使用し、狩猟する感覚を実体験しました。さまざまな体験プログラムを通じ世界のスカウト達と、言葉や文化は違っても心は通い合うと実感しました。

普段では経験出来ない感動と友情をありがとう！この経験と友情を大切に、今後活かせるよう努力していこうと思います。

### 24WSJ を終えて

#### 那賀 2 団・B S 尾崎 弘太郎

初めての海外。緊張の中、閑空より乗り継ぎをしてジャンボリー会場へと到着しました。着いた時は雨が降っていて、雨の中での設営でした。

2 日目、午前中はウォーターアクティビティーで、皆でゴムボートに乗って川下りをし、午後からは開会式に参加しました。開会式は規模も大きく楽しかったです。それから色々なアクティビティーにも参加でき、とても充実していました。

会場の気候は乾燥していて、朝晩はとても冷え込み、昼間はとても暑かったです。海外スカウトや日本のスカウトとも多く交流できてとても良かったです。課題としては、単語力が全然足りず、苦労したことがいくつかあります。

ただ、一番悔しかったことは開会式に出られなかったことです。でも今回の 24WSJ 参加は純粋に楽しめ全体的にとても良かったと思います。

### 全力で楽しんできました 和歌山 18 団・B S 平井暖人

世界中のスカウト達と壮大で感動的な経験を共有した 17 日間。一生に一度と思いきい全力で楽しみました。

最初は不安でしたが、訓練活動で他県のスカウト達とすぐに意気投合。一つでも多くの体験をして楽しもう！と協力し合い、絆を深める活動が出来たことは宝だと思っています。

また交換をきっかけに世界のスカウト達と積極的に交流し、互いの文化や考えを理解し、仲良くなることができました。素晴らしい経験をさせて頂いたことに感謝します。技量を磨き、今度は IST として参加したいです。

### 一番心に残ったこと

#### 和歌山 2 団・B S 雑賀 亮太

僕は第 24 回世界スカウトジャンボリーに参加することができ、とても楽しい経験と交流ができました。

英語圏の人と交流したり、いろいろなプログラムに参加する中で、一番印象深かったのはユニティショー（大集会）です。ブロードウェイがディズニーソングを披露していた時は広大な会場が一になり、震えるような感動を覚えました。

辛く、苦しいこともありましたが、それ以上に共に過ごした仲間との絆や楽しい経験で得たことを今後のスカウト活動に活かしていきたいと思っています。

24WSJ

### 世界観を変えてくれた 海草 1 団・B S 宗野 匡孝

今回の第 24 回世界ジャンボリーは、自分の世界観を変えてくれました。

何故そう思ったかということ 24WSJ に行く前は、世界ということ、広すぎて自分には手も届かないものだと思っていました。だが、参加したことにより、150ヶ国が集まる壮大な大会でしたが、自分なりに意思疎通も出来、様々な国の人と考えを伝え合うことが出来たと思う。だから挑戦する勇気と自分にも世界のために何かが出来るという考えを持つことが出来ました。

### 次は IST として・・・

#### 橋本 2 団・V S 井田 有美

約 2 週間のキャンプは、とても長いだろうと思っていたが、あっという間に終わった。最初はとても不安で緊張していた。しかし隊、班のメンバーにも恵まれずっと楽しく過ごすことができた。

体調を崩す事を心配していたが、元気に安全に期間を乗り越えることができた。食事は口に合わないお菓子もあったがアメリカンフードを味わうことができた。

色々な国のスカウトと交流することで、視野も広がり、異文化を理解することもできた。このような貴重な体験ができたのも親を始め、指導者、共に過ごした仲間のおかげで深く感謝したい。とても良い経験となったので、ぜひまた次の世界ジャンボリーにも IST として参加できたらと思う。

### 感謝という言葉を学んで 海草 1 団・B S 小畑 啓一郎

僕は、世界ジャンボリーでいろいろな経験をさせていただきました。そこで学んだことは、「感謝」という言葉です。いろんな体験をしている中でたくさんの人に感謝の気持ちがあふれてきました。

参加を後押ししてくれた両親や隊長をはじめとするリーダーのみなさん。そして一緒にジャンボリーを過ごした仲間たちには本当に感謝しています。

大会のアクティビティーではボルダリングやラフティングなど初めての楽しい体験ができました。本当にありがとうございました。

### ぜひもう一度参加したい

#### 和歌山 18 団・副長補 島本 隼

今回のジャンボリーでは、和歌山・奈良・滋賀のスカウトが集まった 23 隊として参加しました。

ジャンボリーでは、様々なアクティビティーがあり、また大会 5 日目には CCD というものがありました。これは各国の食べ物や文化を各サイトで紹介するというイベントです。私達の隊は素麺と抹茶を点てて振る舞いました。

また、私達も多くの国の食べ物異文化を体験しました。ぜひもう一度、世界ジャンボリーに参加したいという意欲が湧いてきました。





## 和歌山青年会議所主催イベントに協力 8月10日・四季の郷 パワーオブワカヤマ「#マチノアカリ」に参加して

令和元年8月10日に和歌山市の四季の郷公園で開催された和歌山青年会議所主催のイベントに協力し、ボーイスカウトが担当して子供体験ブースを開きました。

夜のスカイランタンや竹燈夜などのイベントまでの時間でしたが、猛暑の中100名以上の子供さんが来てくれました。

ブースでは、県コミッショナーの手作り「竹の水鉄砲」が人気だったほか、段ボールの家づくりや火おこし体験なども、順番待ちの行列ができていました。また、保護者の方々も一緒に体験いただき、ボーイスカウトに関心を持ってもらえたと思っています。

真夏の日中、奉仕してくれた指導者ベンチャースカウトの皆さん、本当にお疲れさまでした。

皆さんの頑張りのおかげで、1人でも多くの仲間（入隊者）ができることを期待しているところです。

（和歌山連盟理事・矢田嘉秀）



しっかりと目的を担ってネ！



3年ぶりでやっと開催できました  
**カブラリー & ビーバーデイ**  
10月6日・和歌浦御手洗公園  
及びその周辺



令和元年10月6日、和歌浦御手洗池を会場に、日本遺産指定の和歌浦で3年越しに開催できました。これまで二度も悪天候に見舞われ中止となっていたイベントです。

当日は好天に恵まれ、スカウト達も生き生きと元気一杯に、秋の一日を存分に楽しみました。

カブラリーのテーマは、『日本遺産「わかうら」で宝探しに挑戦』。ビーバーは、『和歌浦2019 ビバリンピック』です。

午前10時より尾花市長、富松教

### 地・区・だ・よ・り 【和歌山地区】

育長等のご臨席をいただき「開会セレモニー」を開式。10時30分より、それぞれのプログラムを楽しく展開しました。また、久しぶりの開催を考慮し、他団スカウトとの交流等を考え活動時間を30分延長。スカウト達も大満足の様子でした・・・。



### 河川愛護月間・紀の川清掃奉仕

7月21日(日) 午前8時～  
紀の川第5緑地（北島橋左岸周辺）



みんなの力できれいになりました  
暑い中ご苦労さまでした

・地区イベント委員長 阪井 和男・

### 令和元年度 子供・若者育成支援 県民大会へ参加しました

・日時：令和元年10月26日  
・会場：有田市民会館

県青少年育成協会からの依頼を受け和歌山地区各団より指導者数名ずつが参加。アトラクションの少年メッセージ2019の発表とパネルディスカッションを聴き、「地域の育成力」について考えるまたとない良い機会となりました。（地区事務局）



地区  
だより  
2

紀北地区 VS 大会 フォレストアドベンチャー栗東へ行ってきました。

道中のバスの中では怖いよ！と聞いていたので、あまり乗り気じゃなかったのですが、実際にやってみると思いは一変しました。

普段見ることのない高さから自然の美しさを感じることができ、まるで自然の一部になった様でした。

指導員の方がとても丁寧に教えてくれたので、怖さも無くなりました。

地上から約10mの高さがある中、命綱一本でハシゴの上を歩いたり、網を登ったりしました。ロープや滑車を使って木を渡り、木と木をロープ一本で渡ります。他の人がやっている姿を見ると簡単そうに見えまし

た。しかし、自分がやるとまっすぐ進んでいるつもりでも曲がってしまい上手く着地出来ず、服がドロドロになることもありました。でもこんなに服を汚してまで楽しめたのは小学生以来です。

最初は本当に怖かったが、スカウト以外の方達とも一緒に楽しむことが出来たので、あっという間に怖さが楽しさ変わっていました。レベルが上がると難度が高くなり、一歩踏み出す事に勇気がいるぐらいでした。特に、ターザンスイングは飛び降りるまでが自分との戦いでした。

しかし、飛び込んでしまえば怖さは

一瞬で楽しさになりました。仲間と助け合い、応援しあいながら楽しい1日を過ごすことが出来ました。

普段では体験出来ない怖さ・楽しさを経験することも出来ました。体験だけでなく、ハンモックで休憩をしたり、看板に書いてある文字を持って写真を撮ったりする場所もありました。

今回のベンチャー大会を通して、各団の友情の熱さを感じることが出来ました。また、団を超えて紀北地区としての絆がより一層深めることが出来たと思います。自然との触れ合いが好きな人はぜひ行ってみたいですね。

伊都第3団 VS 中谷明日香

## 伊都第1団 創立70周年迎えて

和歌山連盟副理事長 平野 一夫



令和元年8月18日高野山大学黎明館にて、山本連盟長を始め、多くの来賓の方々にお越し頂き、真言宗キャンポリー中の紀北地区・洲本・神戸などの団も参加し、創立70周年記念式典が行なわれました。

伊都第1団は、昭和24年GHQのハリー・H・シェパード氏の指導のもと、高野山大学日曜学校の指導生をしていた大学生の故・目黒隆幸氏を隊長とし和歌山県で最初に出来ました。

私は創立時に入隊し、団と共に歩んできました。戦後の混乱も落ち着いた頃で、真言宗金剛峯寺様のお力もあり、多くの困難を乗り越え、住民数の

少ない高野町にあって皆さまのご理解もあり、只今100人の団員が活動しております。

平成の時代は急速にIT化が進み、また、多くの災害にも

見舞われました。これから先どのような時代になるかは想像もできませんが、ボーイスカウト活動こそがいかなる時代にあっても乗り越える力、生きる術を養える場であると確信しています。

70年間多くの方々のご理解、ご協力、ご努力に心より感謝いたします。尚、今後とも一層のご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。最後に県下各団の弥栄を心より願っております。 弥栄

### 県連・地区 行事&活動・予定表(11月~3月)

★印は県連 ●印は和歌山地区 ●印は紀北地区

11月 9日 ★ねんりんピック開会式 県営競技場	1月 18日 ●和歌山地区が ナイトハイク 深日～
11月 17日 ★浦島キャンプ場整備 浦島	1月 22日 ●紀北地区新年会 高野山
11月 17日 ★紀南地区ラウンドテーブル 田辺市	1月 26日 ★セーフ・フロム・ハーム研修 河南コミ
11月 21日 ★県連企画調整会議 仙石バンダー	2月 8日～9日 ★団委員長サミット岬町・海風館
12月 12日 ★県コミ等タスクチーム会議 北コミ	2月 16日 ●紀北地区BP祭 かつらぎ町大谷小学校
12月 14日 ★近畿ブロック指導者養成会同 神戸	3月 1日 ●和歌山地区BP祭 和歌山城内
12月 19日 ★県連理事会&忘年会 紀北地区	3月 22日 ★アドベンチャーフェスタ ビッグ愛
12月 22日 ★WBSファミリーミュージック 県下各地区	